

坂倉準三の〈位置〉を考える

Symposium :On the Position of Junzo Sakakura. Architectural and Historical Reconsideration

日時:2009年7月12日(日)10時30分-17時30分[開場:10時]

12 July, 2009, from 10:30 to 17:30

場所:財団法人 国際文化会館・岩崎小彌太記念ホール

〒105-0032 東京都港区六本木5-11-16 <http://www.i-house.or.jp>
Iwasaki Koyata Memorial Hall, The International House of Japan
5-11-16, Roppongi, Minato-ku, Tokyo 105-0032, JAPAN

主催:神奈川県立近代美術館

パナソニック電工 汐留ミュージアム

読売新聞東京本社 美術館連絡協議会

Organized by: The Museum of Modern Art, Kamakura&Hayama
Shiodome Museum

Japan Association of Art Museums+Yomiuri Shimbun

企画協力:坂倉準三展組織委員会

Co-organized by: The Organizing Committee of Junzo Sakakura Exhibition

協力:財団法人 国際文化会館

Supported by: International House of Japan

坂倉準三(1901-1969)は、20世紀を代表する大建築家ル・コルビュジエの下で修業をつみ、戦後日本建築の発展の礎を築いた建築家です。その坂倉準三の没後40年にあたる今年、鎌倉の神奈川県立近代美術館と東京のパナソニック電工 汐留ミュージアムでは、2部構成の「建築家坂倉準三展」が開催されます[鎌倉:5月30日-9月6日、汐留:7月4日-9月27日]。本シンポジウムは、この展覧会の開催を記念して、建築家坂倉準三の果たした歴史的な役割、その仕事語りかける将来へのメッセージを、建築学的、美学的、歴史的などさまざまな視点から考え直してみようというものです。

本シンポジウムの会場となる国際文化会館も、それ自身が坂倉準三、前川國男、吉村順三によって1955年に共同設計されたすぐれたモダニズム建築です。2005年、耐震構造を含む大規模な改修を経て見事に保存された国際文化会館は、戦後の名建築の保存の画期的な取り組みとして高い評価を得ています。

■定員:150名(参加費無料)

事前にファクスにて申込み・先着順受付

■申込先:

神奈川県立近代美術館 鎌倉、坂倉展記念シンポジウム係

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53 FAX 0467-23-2464

■お問合せ先:

神奈川県立近代美術館 鎌倉(担当:三本松倫代、山内舞子)

TEL. 0467-22-5000

第1部 ■10時30分-12時30分

第1部では、坂倉準三と親しく接してきた美術史家、建築家を招き、知られざる坂倉準三の素顔や、日本と世界の中で坂倉準三の仕事が果たした文化的な役割、その歴史的意味などを再検討します。

パネラー:磯崎新(建築家)、高階秀爾(美術史家、大原美術館館長)ほか

モデレーター:鈴木博之(建築史家)

第2部 ■14時-17時30分

第2部では、いま坂倉準三の仕事から何を学ぶことができるかという問いかけの中で、近代建築史の上の坂倉準三像を超えて、その仕事の拡がり、現代の建築創造にとっての意味をあらためて考え直し、討議します。

講演:内藤廣(建築家)

パネラー:青井哲人(明治大学)、北村紀史(元坂倉建築研究所)、田路貴浩(京都大学)、松隈洋(京都市芸繊維大学)、萬代恭博(坂倉建築研究所)、山名善之(東京理科大学)

コメンテーター:内藤廣

モデレーター:太田泰人(神奈川県立近代美術館)



申込用紙

切り取らずに送信してください。

※複数でお申込の場合は、全員のお名前をご記入ください。また返信のため代表の方を明記してください。

ふりがな
氏名

電話番号

FAX番号

シンポジウム係宛 **FAX 0467-23-2464**

※後日、受付確認の返信を差し上げます。